

# 大学自己評価部会だより

第85号 (令和5年1月)

## ディプロマ・ポリシー

大学院歯学研究科では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。ディプロマポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、育成する人材が身につけるべき能力を示したものです。

歯学専攻のディプロマ・ポリシー

- (1) 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること
- (2) 専門的医療人として、科学的根拠に基づいて論理的な思考を展開する能力を有し、先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること
- (3) 生涯にわたり研鑽し、全身の健康という視点に立った口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること
- (4) 学際領域の学問分野と協働し地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること
- (5) 多職種と連携した歯科保健医療活動を通して、社会貢献する能力が備わっていること
- (6) 海外の研究者との積極的な情報交換を行い、国際社会へ研究成果を発信できる能力が備わっていること

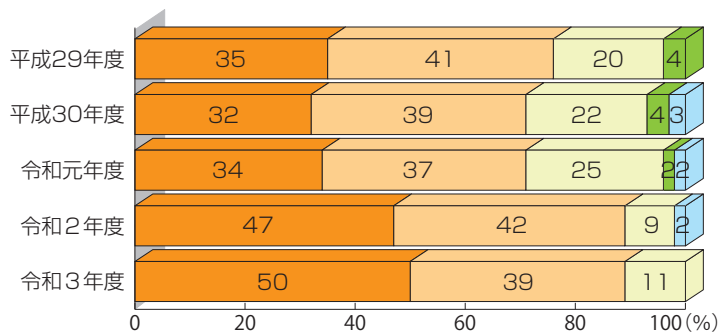
## アンケート調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成29～令和3年度の5年間を比較しました。

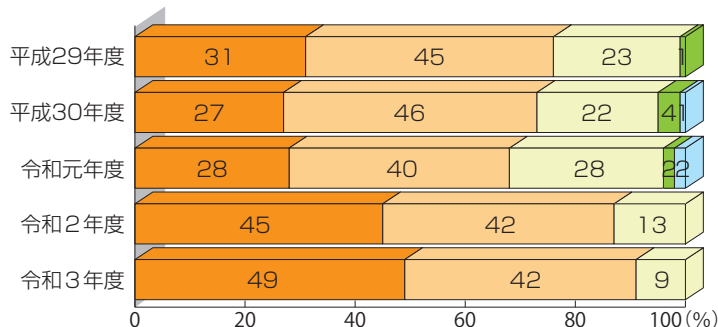
### ① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では毎年講義内容の見直しを行い講義・実習の充実を図っており、令和3年度は約90%の学生が「高い」「少し高い」と答え、満足度を感じています。

主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度



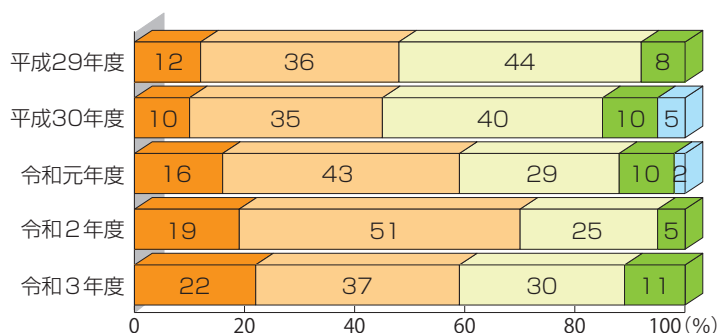
高い  
少し高い  
普通  
少し低い  
低い

## ② 授業要綱や学習相談などについて

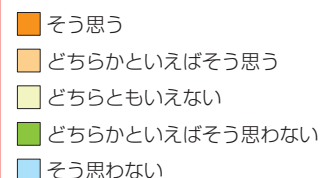
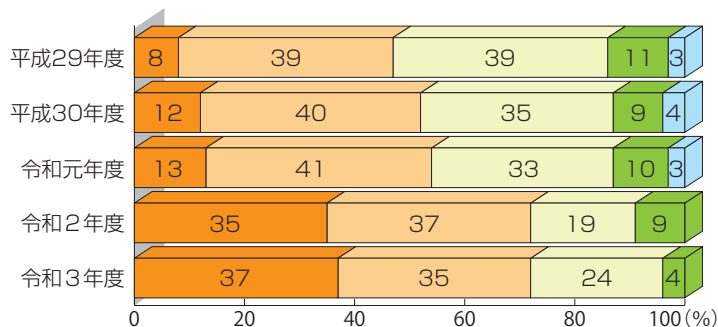
大学院生が大学に求めるものは個々に異なりますが、指導教員の先生方は大学院のカリキュラムポリシーの周知とともに、指導する学生にとって相談や意見交換しやすい環境を整えましょう。学生目線で分かりやすい授業要綱となるよう毎年の見直しを心がけてください。



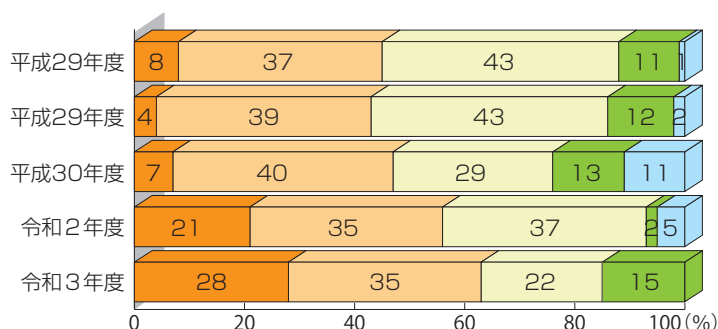
授業要綱は  
分かりやすいですか



学習相談や助言などは  
適切に行われていると  
思いますか



大学は皆さんの  
学習面でのニーズを  
適切に把握しているか  
と思いますか

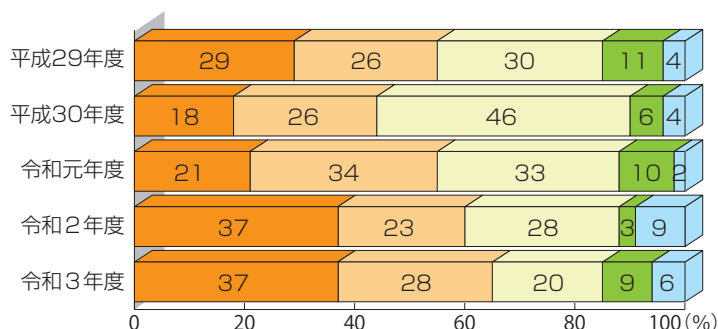


## ③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度は、研究指導方法の改善を図り、「高い」「少し高い」併せて65%まで回復しました。一方、満足度が「低い」「少し低い」とする学生が一定数いることにも留意して、指導教員の先生方は大学院生との密なコミュニケーションをとり改善を心がけてください。



現在の研究指導に  
満足していますか



この「大学自己評価部会だより」にご意見の方は [kikaku@kyu-dent.ac.jp](mailto:kikaku@kyu-dent.ac.jp) へお願いいたします。